

音楽祭で心のバリアフリー

岐阜市で8日開催、知事にPR



江崎禎英知事に音楽祭の開催をアピールした関係者
＝県庁

8月8日に岐阜市内で開かれるストリートコンサート「とっておきの音楽祭 in 岐阜」の実行委員会メンバーらが、県庁で江崎禎英知事と面談し、「心のバリアフリー」を目指した音楽祭の魅力をアピールした。

コンサートは障害の有無にかかわらず誰もが自由に楽しめるのがテーマ。2001年に仙台市で始まり、県内でも22年から開催しており今年で5回目を迎える。「第4回ぎふ長良川花火大会」に合わせて企画し、岐阜市玉宮地区や同市神田町の岐阜信用金庫の「G's Dream」などにステージを設け、約40組

のアーティストが出演する。総合プロデューサーはアーティストのRYUREX(リュウレックス)さん。実行委員長のパンダ老師さんは江崎知事に「ダウン症の子どもたちのダンスチームもあり、年に1回の晴れ舞台となっている。多くの人たちに見てもらえるよう準備を進めている」と紹介。聴覚障害があるギターストキむやんさんが演奏を披露した。江崎知事は「素晴らしい演奏をありがとう。少しでも励みになれば」と当日の来場を約束した。

(青山和史)